

令和2年度 お城を中心としたまちづくり懇話会 会議録【概要版】

日時：令和3年2月26日（金） 9:30～11:30

場所：プラザおでって 大会議室

出席者			
氏名		役職名等	
倉原宗孝	出	岩手県立大学総合政策学部教授	学識経験者
斎藤純	出	石神の丘美術館美術監督，作家	岩手公園開園 100 周年記念事業関連
坂本広行	出	宗教法人 櫻山神社 宮司	櫻山地区歴史
下玉利元一	出	盛岡城いしがき文化祭推進フォーラム代表	市民まちづくり団体
高橋智	欠	文化地層研究会 代表	歴史・文化
佐々木祐輔	出	内丸第二町内会 会長	地域住民
田屋館真留久	欠	一般社団法人盛岡青年会議所 理事長	商工・観光
林晶子	欠	盛岡商工会議所女性会 顧問	商工・観光
豊岡勝敏	欠	盛岡市教育委員会 教育部長	
高濱康亘	出	盛岡市都市整備部長	

■事務局

公園みどり課：富樫課長，藤村課長補佐，佐藤計画係長，佐々木文化財主査，
宮田技師，熊谷技師，田畑主事

配布資料

■次第

■懇話会委員名簿

■懇話会設置要領

■議題説明資料

資料1（PowerPoint スライド印刷資料）

資料2（令和2年度事業実施実績調査票）

要 旨

○史跡盛岡城跡保存整備事業の実施状況について

○Park-PFI を活用した盛岡城跡公園芝生広場整備事業について、内丸緑地について

- 断念した訳ではないと知って安心した。
- いずれコロナは収束する。アフターコロナを見据え、対応できるものにしたほうがいいのか。
- コロナと同時に、城の史跡のことも大事で、歴史性、史跡とも調和した広場になればと思うし、大事だと考える。

○サクヨコなど計画範囲内の最近の動向と公共空間の利活用について

- 公園が特に中心になる。公園と地域をつなぐ人がいない。活用についてスムーズに相談できる機関があると、地域につながるチャンスが生まれる。気軽に相談できる窓口があるといい。コーディネーター。民間でも何かするといろんな案が実現されるのでは。
- 公共のとしての空間の使い方については行政あるいは計画としてすべて決めてしまうのではなく、自由な場所として使えるソフト的な機関があれば。
- 使いたいときの窓口が一本化されると嬉しい。火の使用などのガイドラインがあるといい。使うためには使い方を知らなければならない。
- 空間的な「公共」とは何か、と問い直すことも盛岡にとって大事。公共＝行政のというイメージがするが、本当はみんなで作えよう、みんなで作おう、それを行政窓口のもとに市民や色んな関係者が一緒に考えていくという形であるべき。
- 葺出町をトランジットモール化できれば面白いと思う。回遊性を高める。狭いので可能性はある。
- 花見の時以外、城跡公園内で飲み食いする人がいない。ピクニックデーみたいなイベントができればと思っている。
- 櫻山参道地区に目を向けること自体停滞している。考えようという姿勢が地元からみられる自体いいこと。早くしないといけないと思う。

○その他

- 色々なものが動き出している中で、それを活かすためにも新しい世代の意見を入れた計画のアップデート、作り直しが必要じゃないか。動きを後押しするための計画として必要。
- 部分的には廃止もあっていいと思う。それらを整理してまた議論する。